

平成22年度(2010)の統計と事業

芳賀町総合情報館

目次

1 総合情報館の概要	1p
(1) 設置の目的	
(2) 総合館としてのメリット	
(3) 開館までの経過	
(4) 建物の概要(主な施設の面積)	
(5) 平成 22 年度の組織	
2 図書館の統計と事業	3p
(1) 開館日と入館者数	
(2) 貸出利用者数と貸出資料数	
(3) 登録者数	
(4) 受入資料数と除籍資料数	
(5) 所蔵資料(概要)	
(6) 各種のサービス	
(7) 団体貸出	
(8) 図書館の催事	
(9) 学校図書館との連携	
(10) 研修活動	
3 博物館の統計と事業	7p
(1) 企画展の開催	
(2) 普通収蔵庫の収蔵庫内展示	
(3) 展示室等の貸出	
(4) 資料の収集	
(5) 資料の整理	
(6) 資料の保存処置	
(7) 資料の利用	
(8) 研修活動	
(9) その他	
4 文書館の統計と事業	12p
(1) 資料の移管・収集	
(2) 資料の整理	
(3) 資料の保存処置	
(4) 資料の利用と普及	
(5) 研修活動	
(6) 外部活動	
5 総合情報館の統計と事業	15p
(1) 総合情報館運営協議会	
(2) 研修等の受入	
(3) 視察・施設見学	
(4) 「いのちを守り人権について考える」口演と講演の会	
(5) 太陽光発電システム	
(6) その他	
6 東日本大震災の被災記録	16p

1 総合情報館の概要

(1) 設置の目的

芳賀町総合情報館は、図書館・博物館・文書館の複合施設として、平成20年10月3日に開館した。芳賀町では、平成4年、公民館図書室が芳賀町民会館内に開室されていた。しかし、開架書架も満杯となり、閲覧コーナーの狭隘さ等図書室サービスを十分に展開することは出来ず、平成10年代に入り住民から図書館設置が要望され始めた。博物館施設については、昭和49年、旧高根沢村役場庁舎を利用して郷土資料館が設置された。この施設は、平成12年、廃校となった与能小学校にその機能を移転し引続き運営していたが、十分に活用されているとは言い難い状況だった。文書館は、芳賀町史編さん事業がそのきっかけである。平成6年度から本格的に開始された事業が中盤に差し掛かった平成10年度の第五回芳賀町史編さん委員会において、収集資料の保存活用について意見が出されたことをきっかけに、文書館構想が浮上した。この頃より、編さん業務とともに、地方公文書館への視察や総務課所管であった町史編さん室を教育委員会に所管変更するなど将来の文書館を見据えた活動が行なわれるようになった。以上のような図書室、郷土資料館、町史編さん室の状況があり、芳賀町の町創りに対する理念等が集約された結果、図書館・博物館・文書館の機能を複合した総合情報館構想へと結実した。

そして、総合情報館は、町民と町が一体となって文化・地域・行政情報資源を収集活用し、社会の急速な変化に十分対応できる、新たな地域創造を図る新世紀芳賀町の生涯学習と文化活動の総合拠点とすることを目標とした。

(2) 総合館としてのメリット

規模の小さな単独館を別々に設置しても、いずれも不十分なものとなりがちである。そのため、総合情報館は町民のニーズの変化や情報の高度化にも対応しやすく、一体的に利用することでその利便性を高めることができるとし、機能の集約性をメリットとして掲げている。

(3) 開館までの経過

平成15年6月27日	第1回総合情報館(仮称)設立構想専門委員会
平成15年8月5日	第1回総合情報館(仮称)設立構想懇談会開催
平成15年8月～9月	各種団体からの意見聴取
平成15年9月12日～ 9月13日	専門委員会、懇談会合同研修会(茨城県八千代町、猿島町、三和町)
平成16年3月8日	専門委員会『芳賀町総合情報館(仮称)基本構想』提出
平成16年5月24日	第1回建設委員会開催
平成16年6月28日	第1回建設委員会専門部会開催
平成16年11月4日	建設委員会『(仮称)芳賀町総合情報館基本計画書』提出、第1回プロポーザル審査委員会開催
平成16年11月10日	基本設計に関するプロポーザル説明会(6社)
平成16年12月18日	第2回プロポーザル審査委員会開催、(株)日本設計の提案採用
平成16年12月28日	(株)日本設計と基本設計の業務委託契約を締結

平成 17 年 3 月 24 日	(株)日本設計より、基本設計図書納品
平成 17 年 4 月 1 日	生涯学習課に総合情報館推進係設置
平成 17 年 7 月 4 日	(株)日本設計と総合情報館実施設計業務委託契約締結
平成 17 年 11 月 30 日	(株)日本設計より、総合情報館実施設計図書納品
平成 18 年 3 月 18 日	総合情報館運営説明会開催
平成 18 年 6 月 2 日	飛島建設(株)と総合情報館建設工事請負契約締結
平成 18 年 9 月 20 日	基礎工事開始
平成 19 年 9 月 28 日	飛島建設(株)より、建設工事完了届提出
平成 19 年 12 月 21 日	愛称を「知恵の環館」に決定する
平成 20 年 4 月 1 日	芳賀町総合情報館設置管理条例制定
平成 20 年 7 月 20 日	総合情報館図書館プレオープン
平成 20 年 10 月 3 日	総合情報館落成式

(4) 建物の概要(主な施設の面積)

敷地面積	4,146.74 m ²	普通収蔵庫	149.25 m ²
建築面積	2,411.33 m ²	特別収蔵庫	48.96 m ²
延床面積	2,959.34 m ²	地域資料庫	185.75 m ²
図書館	963.66 m ²	体験学習室兼作業室	58.07 m ²
展示室 1	99.05 m ²	多目的室	88.45 m ²
展示室 2	134.95 m ²	会議室	14.01 m ²
構造規模	RC造、一部S造、地上 2 階		

(5) 平成 22 年度の組織

芳賀町教育委員会—生涯学習課—総合情報館係—図書館・博物館・文書館

館長(課長補佐兼係長)	1 名	副主幹	1 名
用務員	1 名	図書館司書(嘱託員)	2 名
学校図書館司書(嘱託員)	4 名	博物館学芸員(嘱託員)	1 名
文書館学芸員(嘱託員)	1 名		11 名

2 図書館の統計と事業

(1) 開館日と入館者数

開館日数	284 日
入館者数	92,225 名
17 時以降入館者数	13,958 名
一日平均入館者数	325 名
17 時以降平均入館者数	49 名

※入館者数: 展示室観覧者数等を含む総合情報館全体の入館者数

(2) 貸出利用者数と貸出資料数

貸出利用者数	31,579 名
町内貸出利用者数	16,958 名
貸出資料数	145,393 点
町内貸出資料数	77,079 点
一日平均貸出利用者数	111 名
一日平均貸出資料数	512 点

(3) 登録者数

登録者数	5,966 名
登録者数(町内在住・在勤)	3,654 名
新規登録者数	981 名

(4) 受入資料数と除籍資料数

受入資料数(寄贈資料を含む)	6,226 点
除籍資料数	1,795 点

(5) 所蔵資料数(概要)

一般書(雑誌を含む)	46,007
児童書	14,836
絵本	9,254
紙芝居	478
種別無	7
DVD	764
CD	1,633
ビデオ(VHS)	1,332
計(点)	74,311
年度受入雑誌種数	56 種類
年度受入新聞種数	8 種類

(6) 各種のサービス

インターネット利用者数	1,586 名
視聴覚機器利用者数	1,447 名
コピーサービス件数	192 件
資料リクエスト件数	607 件
資料予約件数	2291 件
レファレンス件数	846 件

(7) 団体貸出

以下の施設に児童書、絵本、紙芝居の団体貸出を行っている。貸出資料数は、3,125 件、14 団体である。

芳賀中学校	南高根沢保育園
芳賀東小学校	のぶ幼稚園
芳賀南小学校	芳賀町保健センター
芳賀北小学校	子育て支援センターあつとほーむ
祖母井保育園	子育てひろば ぴよぴよ
水橋保育園	

(8) 図書館の催事

① 特集展示

月	一般	月	児童
4 月	美しい日本語を使おう	4 月	国語を楽しむ！
5 月	旅に出よう	5 月	世界を知ろう！
6 月	じめじめ梅雨に負けるな	6 月	天気について調べよう・ワールドカップ
7 月	アウトドアを楽しもう！	7 月	平成 22 年度栃木県優良推薦図書・第 56 回青少年読書感想文課題図書
8 月	夏を感じる本・怖い話	8 月	
9 月	敬老の日～読書のすすめ～	9 月	実りの秋・秋を食べよう
10 月	読書週間 職員おすすめ本	10 月	読書週間 真岡北陵高校生おすすめ本
11 月	柳田國男	11 月	冬じたく
12 月	クリスマス	12 月	クリスマス
1 月	鍋・スープを食べて温まろう	1 月	うさぎのえほん
2 月	バレンタインデー	2 月	バレンタインデー
3 月	新生活の準備をしよう・2010 年文学賞受賞作品	3 月	卒業・入学おめでとございます！

このほか、井上ひさし、佐野洋子各氏の追悼特集を行った。

②一日図書館司書にチャレンジ

概 要	図書館の利用促進を目的として、カウンター、配架、ブッカー作業等の図書館業務を体験してもらう。
開催期間	平成 22 年 8 月 3 日（火）～5 日（木）
対 象 者	小学校 3 年～6 年生
募集人員	9 名(1 日 3 名)

③読み聞かせ講座(おはなしボランティア養成講座)

概 要	読み聞かせのための選書方法や読み聞かせの方法等基本的知識を学ぶ。
開催期間	平成 22 年 12 月 17 日（金）から全 5 回
講 師	鈴木靖代氏
参加者数	5 名

④音読ボランティア養成講座

概 要	図書館の利用案内や読物等の音声版を作製し、視覚障がい者への情報提供を支援するボランティアの養成を目的とする。
開催期間	平成 22 年 6 月 3 日（木）から全 6 回
講 師	北澤則子氏(情報提供グループアクセス)
参加者数	2 名

⑤ブックスタート

概 要	赤ちゃんとその保護者に、楽しく温かいひと時が持たれることを願い、絵本を開く楽しい体験と一緒に、絵本を手渡す活動。芳賀町保健センターにおいて、検診時に、乳幼児に本を配布し読み聞かせを行う。
実施回数	5 回(第 6 回目の 3 月 17 日(木)は、地震により中止)
対 象 者	10 か月健診幼児
配布者数	91 名
配布絵本	『おつきさまこんばんは』(林明子)、『あそびましょ』(かどのえいこ)、『ぽんぽんポコポコ』(長谷川義史)

⑥「学生支援コーナー」の開設

図書館を利用する中高生、大学生等の学習や就職に役立つ情報・資料をまとめて、読書学習コーナー前に配架した。職業紹介、学習法、資格取得、学校案内等の図書を集約するとともに、県内の学校案内(高等学校・大学・専門学校)も収集提供した。

⑦読書推進活動の施策

平成 18 年度からの第 1 期に引き続いて、『第 2 期子ども読書活動推進計画』の策定を行い、公表

した。(http://www.town.haga.tochigi.jp/jouhoukan/toshokan/20110330.html)

⑧その他

- ・栃木県立図書館をはじめとする機関からの業務照会事項に対応した。
- ・芳賀北小学校において、毎月行われる読み聞かせのお話ボランティアのスケジュール調整、打ち合せ等の会務を担当した。

(9) 学校図書館との連携

児童、生徒の読書活動を推進し、各学校と総合情報館図書館との連携を強化するために、学校図書館司書の所属を総合情報館係に置いている。学校図書館司書は、学校図書館の運営を行うとともに、土日祝日、夏休み等は、総合情報館図書館の業務に携わっている。また、平成22年度は、学校図書館及び情報館活用会議を開催し、各学校図書担当教諭及び学校図書館司書、こども育成課、総合情報館担当者間で、意見交換を行った。

(10) 研修活動

職員の資質向上、他機関との情報交換等を目的として以下の研修に参加した。

研修日	研修内容
平成 22 年 4 月 28 日 (水)	平成 22 年度栃木県公共図書館協会総会
平成 22 年 5 月 12 日 (水)	平成 22 年度レファレンス基礎研修会
平成 22 年 5 月 18 日 (火)	平成 22 年度芳賀郡市図書館担当者会議
平成 22 年 5 月 20 日 (木)	平成 22 年度第 1 回視聴覚ライブラリー教材選定委員会
平成 22 年 5 月 26 日 (水)	平成 22 年度図書館・公民館図書室職員基礎研修会
平成 22 年 6 月 16 日 (水)	平成 22 年度第 2 回視聴覚ライブラリー教材選定委員会
平成 22 年 6 月 26 日 (土)	芳賀地区図書館ボランティア研修会
平成 22 年 7 月 14 日 (水)	栃木県中央公立図書館等連絡協議会総会
平成 22 年 7 月 28 日 (水)	平成 22 年度市町・学校等子どもの読書活動推進担当者会議
平成 22 年 8 月 4 日 (水)	平成 22 年度栃木県公共図書館協会館長会議
平成 22 年 8 月 25 日 (水)	平成 22 年度図書館職員サービス向上研修会
平成 22 年 11 月 24 日 (水)	第 12 回図書館総合展
平成 22 年 12 月 15 日 (水)	平成 22 年度図書館協力ネットワーク研修会
平成 22 年 12 月 21 日 (火)	平成 22 年度読書ボランティア等活動交流会
平成 23 年 1 月 26 日 (水)	平成 22 年度レファレンス研修会
平成 23 年 1 月 28 日 (金)	平成 22 年度栃木県教育研究発表大会生涯学習部会—図書館と学校の効果的な連携の在り方—
平成 23 年 2 月 23 日 (水)	平成 22 年度児童サービス研修会
平成 23 年 3 月 1 日 (火)	広域利用担当者研修会

3 博物館の統計と事業

(1) 企画展の開催

① 企画展(4回)

展覧会名	鈴木正一郎作品展—カメラと共に70年—
開催期間	平成22年6月2日(水)～7月11日(日)
観覧者数	1,557名
展示概要	雲の写真で著名な鈴木正一郎氏の写真展。鈴木氏が撮影した唐桶の溜(平成23年3月農林水産省「ため池百選」)の写真も出展した。

展覧会名	—夏休み収蔵品展—画家としての福田たね
開催期間	平成22年7月24日(土)～8月29日(日)
観覧者数	1,716名
展示概要	本館収蔵資料をもとに、福田たねの晩年の作画生活にスポットをあてた展示を行った。

展覧会名	佐伯留守夫 佐伯守美—父から息子へ美の継承—
開催期間	平成22年9月19日(日)～10月20日(水)
観覧者数	2,133名
展示概要	芳賀町給部に窯をかまえる陶芸家佐伯守美氏とその父親で彫刻家であった佐伯留守夫氏の初の親子展を行った。

展覧会名	栃木県立博物館移動博物館 江戸時代の街道と宿場
開催期間	平成23年1月29日(土)～3月11日(金) ※3月21日(月)までの会期であったが、東日本大震災のために会期短縮する。
観覧者数	1,386名
展示概要	栃木県内を中心とした江戸時代の宿場と街道に関する資料及び芳賀町に残された助郷や流通等に関する古文書の展示を行った。

② 企画展関連事業

事業名	「夏休み収蔵品展—画家としての福田たね」関連ワークショップ「絵手紙を描こう」
開催日	平成22年8月12日(木)
対象	小学生～中学生(保護者を含む)
参加者数	15名

事業名	「佐伯留守夫 佐伯守美—父から息子へ美の継承—」関連ギャラリートーク
-----	------------------------------------

開催日	平成22年11月3日(日)
講師	佐伯守美氏
参加者数	53名

事業名	「栃木県立博物館移動博物館 江戸時代の街道と宿場」関連講座「宿場町に集まる人々ー日光道中を中心にー」
開催日	平成23年1月29日(土)
講師	大石三紗子氏(埼玉県立文書館)
参加者数	33名

(2) 普通収蔵庫の収蔵庫内展示

普通収蔵庫内において、考古資料・民俗資料を保管及び展示し、小学校の調べ学習、宿題等の活用に供している。

団体見学	193名(芳賀南小、芳賀北小、芳賀東小・芳賀町教職新任研修等)
個人見学	143名(益子町立七井小学校、真岡市立真岡小学校等)
計	336名

(3) 展示室等の貸出 (8回)

展覧会名	第3回芳賀町書道連盟会員展
開催期間	平成22年4月15日(木)～4月18日(日)
観覧者数	473名

展覧会名	あいらぶ写真展・芳賀町写真クラブ写真展
開催期間	平成22年4月27日(火)～5月16日(日)
観覧者数	652名

展覧会名	第17回芳書会書展
開催期間	平成22年10月30日(土)～11月3日(水)
観覧者数	637名
展覧会名	第29回芳書町民祭 書道展
開催期間	平成22年11月5日(金)～11月7日(日)
観覧者数	381名

展覧会名	奈須野悦子 創作人形展
開催期間	平成22年11月24日(水)～11月30日(火)
観覧者数	575名

展覧会名	芳賀絵画教室作品展
開催期間	平成 22 年 12 月 8 日（水）～12 月 26 日（日）
観覧者数	1,673 名

展覧会名	芳賀町美術展
開催期間	平成 22 年 1 月 7 日（金）～1 月 25 日（火）
観覧者数	821 名

展覧会名	<町民ギャラリー>押し花とポーセラーツ展
開催期間	2011 年 1 月 21 日（金）～2 月 1 日（火）

(4)資料の収集

個人所蔵の考古資料、民具資料を寄贈資料として受け入れた。

資料名	数量
土器(土師器)	4
湯呑茶碗	1
古銭	一括
新編裁縫教科書他	6
携帯用カイロ一式(カイロ・巾着袋・燃料)	1
俵編み機	1
振り馬鍬	1
種蒔き機	1
押切	1
勲章	4
支那事変出征記念写真帖	1
絵葉書帖	1
絵葉書	1 括

(5)資料の整理

緊急雇用創出事業補助交付金を活用し、未整理となっていた福田たね写真資料、芥川ヤス子資料、福田蘭童の楽譜資料等の整理作業（クリーニング、写真撮影、スキャニング、目録作成等）を行った。

(6)資料の保存処置

①燻蒸

骨蔵器の遺骨（考古遺物）、岩村秀巖作品（絵画）、北村西望作品（レリーフ）・笹島喜平作品（版画）・鈴木正一郎作品（写真パネル 29 点）の燻蒸を行った。

②環境調査

総合情報館で資料を収蔵・展示する環境を整えるため、毛髪式温湿度記録計・パッシブインジケータ（酸用・アンモニア用）で環境調査を行い、状況に応じて温室度設定等を調整した。特に平成22年度は建材であるコンクリートからアンモニアが発生し、収蔵庫内のアンモニア濃度が上がった。そのため、特別収蔵庫はフィルターを交換し、普通収蔵庫は空調を外循環に切り替えるなどして対応した。

(7)資料の利用

①資料の利用

学術研究、報道番組制作等の調査のため、博物館資料が利用された。

利用資料名	利用件数
たね 18歳 右は母親	2
50年前の布良	3
館山の茶屋	3
福田たね写真	4
幸彦誕辰の朝	1
芳志戸十三塚出土石製模造品	22
勾玉と石製模造品(上野原・細谷窪西畑出土)	7
算盤	2
石版(算盤付)	2

②貸出

栃木県立博物館に、町内から出土した考古資料を貸出している。貸与期間は、平成22年10月1日～平成23年9月30日。

資料名	点数
谷近台遺跡出土 有舌尖頭器	1
免の内台遺跡出土 磨製石鏃	1

③出版掲載

平成23年は、明治の洋画家青木繁の没後100年にあたり、その関連で報道機関による福田たね関係資料の利用があった。

出版掲載申請資料	利用先
福田たね肖像写真	千葉日報連載「海を見つめる画家たち」 (平成22年6月25日)
福田たね肖像写真、福田たね「館山の茶屋」、「50年前の布良」	東京新聞(平成23年2月15日付)
福田たね肖像写真	NHKBSHi 男前列伝 青木繁×津田寛治 (平成23年2月19日放送)

福田たね肖像写真(3点)、福田たね「館山の茶屋」、「50年前の布良」、「幸彦誕辰の朝」	テレビ東京 美の巨人たち(平成 23 年 3 月 26 日放送)
福田たね肖像写真、福田たね「館山の茶屋」、「50年前の布良」	NHK 番組九州沖縄年間企画 没後 100 年青木繁～生と死の絵画～(平成 23 年 4 月 23 日放送)

(8) 研修活動

職員の資質向上、他機関との情報交換等を目的として以下の研修に参加した。

研修日	内容
平成 22 年 5 月 28 日	平成 22 年度栃木県博物館協会総会・講演会
平成 22 年 6 月 2 日	平成 22 年度博物館文化財セミナー
平成 22 年 6 月 8・9 日	美術館展示業務の研修
平成 22 年 6 月 15 日	平成 22 年度アートリンクとちぎ会議
平成 22 年 6 月 29 日	埋蔵文化財保存処理研修会
平成 22 年 10 月 6 日	栃木県博物館協会研修会 (小杉放菴記念日光美術館)
平成 23 年 2 月 23 日	栃木県博物館協会県外視察研修会 (福島県立博物館)
平成 23 年 2 月 28 日	日本博物館協会主催 平成 22 年度子どもゆめ基金助成事業 子どものための体験活動教材「“食べる”でつながる地球のなかま」普及研修会

(9) その他

- ・民俗資料の保存処理について、(財)とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター職員の指導を受けた。

- ・日本博物館協会による利用促進事業の一環として実施されたベビーカーの寄贈について、申し込みを行い、ベビーカーの寄贈を受け入れた。

- ・総合情報館資料評価委員会を開催し、陶芸作品、華巖シリーズ華巖'09 (林香君作) を収集購入した。

4 文書館の統計と事業

(1) 資料の移管・収集

① 文書の移管

・各課から保存期間満了文書(20箱)の受け入れを行い、総合情報館分館に保管した。

企画課	4	農政課	8
税務課	4	商工観光課	1
健康福祉課	1	生涯学習課	3

・各課等で作成された刊行物を収集するとともに、各課から依頼のあった歴史資料となる可能性のある文書等を随時受け入れた。

- ・シルバー人材センターに保管されていた旧稲毛田小学校資料の引取りを行う。
- ・芳賀東小学校に残されていた祖母井小学校資料について、受け入れを協議する。

② 資料の寄贈

個人所蔵の映像記録を寄贈資料として受け入れた。

資料名	数量
祖母井小学校創立百周年記念式典・大運動会映像記録	1

(2) 資料の整理

未整理資料の整理を促進し、利用を可能にするため、緊急雇用創出事業補助交付金を活用し、博物館の一部未整理資料とともに整理を行った。

作業期間	平成22年9月～平成23年2月	
作業人員	5名	
交付金予算	5,296千円	
整理資料群	作業内容	資料数
旧水橋村役場文書	目録作成	2,173件
旧土地台帳	目録作成	220点
東水沼地区所有文書	目録作成	560件
旧南高根沢村役場文書	クリーニング、綴じ直し等簡易修復等	72箱
地番集籍図	デジタル画像作成、印刷	15点

(3) 資料の保存処置

① 修復

平成20年度税務課から移管を受けた地番集籍図15点の全面修復を行った。修復については、ドライクリーニング、粘着テープの除去、旧裏貼り紙の除去、和紙による裏打ち、皺伸ばし、脱酸性化、エンキャプシュレーション(フィルムによる資料保護)の工程を施した。

② 燻蒸

クリーニングが終了した旧南高根沢村役場文書及び博物館資料の燻蒸を行った。薬剤は、アルプ(酸化プロピレンとアルゴンの混合剤)を使用し、委託会社保有燻蒸施設に資料を一時引き渡して

作業を行った。

(4)資料の利用と普及

①レファレンス

芳賀町の歴史・文化に関する問い合わせに対応し、文書館資料等の提供を行っている。平成 22 年度は、町内外の利用者、役場職員を含めて 80 件の問い合わせがあった。

レファレンス事例

質問 1	現在の和泉ニュータウン付近に中島飛行場の格納庫があったというが、それに関連する資料がないか。
回答 1	現在整理中の資料に、「旧軍施設(掩体壕)撤去関係綴」(昭和 56 年)があり、東水沼和泉ニュータウンの掩体壕撤去の経過がよく知られる。『通史編近現代』877p に該当記述がある旨回答する。
質問 2	昭和 16～23 年の旧水沼小学校の名称について知りたい。
回答 2	『通史編近現代』、『克終』、『みずぬま(閉校記念誌)』、『学校沿革誌』、『学事報告書綴』を確認し回答する。同校の名称変遷は、明治 20 年 3 月 22 日～西水沼尋常小学校—昭和 16 年 4 月 1 日～水橋村水沼国民学校—昭和 21 年 4 月 1 日～水橋村立水沼小学校—昭和 29 年 3 月 31 日～芳賀町立水沼小学校。
質問 3	芳賀町制施行時の人口を知りたい。
回答 3	地域資料庫保管「町村合併申請書」(未整理分)によって、昭和 29 年 3 月 15 日の申請書にあるデータが直近の数字として最も適切と考えたので、それを基に回答する。合併時人口は、祖母井町;7130 人、南高根沢村 6707 人、水橋村 6612 人=20449 人。『広報縮刷版』、下野新聞記事(昭和 29 年分)ファイルを確認する。

②資料の展示

「栃木県立博物館移動博物館 江戸時代の街道と宿場」のなかで、県立文書館寄託文書を主な資料として芳賀町の街道、助郷、流通、旅に関する古文書の展示を行った。

③文書館講座

芳賀町を中心とする地域の歴史に触れることにより、参加者の地域アイデンティティを醸成するとともに、記録資料等の保存の大切さ等を学び、芳賀町総合情報館の開設意義等を深める機会とする。なお、本講座は芳賀町歴史同好会との共催事業である。

第 1 回「由緒から見た江戸時代下野地域 一字都宮・小山氏旧臣などを題材に」

開催日	平成 22 年 10 月 9 日(土)
講師	酒入陽子氏(小山工業高等専門学校)
参加者数	40 名

第 2 回「『下野国誌』と幕末維新の芳賀地方」

開催日	平成 22 年 12 月 4 日(土)
-----	---------------------

講 師	龍澤潤氏(東洋大学)
参加者数	30名

第3回「宿場町に集まる人々—日光道中を中心に—」(企画展関連事業)

開 催 日	平成23年1月29日(土)
講 師	大石三紗子氏(埼玉県立文書館)
参加者数	33名

(6)研修活動

研修日	内容
平成22年6月10日	平成22年度全国公文書館長会議

(7)外部活動

関東インフォメーション株式会社主催文書管理セミナーにおいて講演を行った。

開 催 日	平成22年9月28日(火)
会 場	パルティ
演 題	地方自治体における公文書館機能の現状と課題

広島県市町公文書等保存活用連絡協議会主催研修会において、講演を行った。

開 催 日	平成22年10月4日(月)
会 場	広島県廿日市市役所 (参加自治体職員数26名)
演 題	小規模自治体における公文書館機能の導入に向けて—芳賀町総合情報館の事例—

この他、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会(全史料協)の機関会員として、調査研究委員会に参加し、公文書等の保存活用に関する調査研究を行った。

5 総合情報館の統計と事業

(1) 総合情報館運営協議会

総合情報館の円滑な運営を図るために、芳賀町の各種団体の代表者、学識経験者等(10名)により構成し、運営内容の検討、指定管理者制度の研究等を行った。

開催日	協議事項
平成 22 年 7 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ・正副協議会長の選出 ・『総合情報館運営の現状と課題について』の具申書提出後の経過について ・総合情報館事業実績について ・今年の総合情報館運営計画について
平成 23 年 1 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・高根沢町立高根沢図書館（指定管理者：図書館流通センター）の視察 ・視察を踏まえた協議

(2) 研修等の受入

受入日	内容
平成 22 年 6 月 23 日(水)	平成 22 年度初任行政研修地方自治体実地体験派遣研修(1名)を受け入れ、図書館業務の体験を行った。
平成 22 年 8 月 5 日(木)	平成 22 年教職 10 年目研修社会体験等研修 (1名)を受け入れ、図書館業務を中心に研修が行われた。
平成 22 年 9 月 14 日(火) ～9 月 17 日(金)	栃木県立真岡北陵高等学校のインターンシップ (2名)を受け入れ、図書館(カウンター等)、文書館(地番集籍図の整理)、博物館(展示キャプション製作)の各機能の就業体験を行った。

(3) 視察・施設見学

受入日	視察・見学者
平成 22 年 7 月 6 日	芳賀東小学校 2 年生・生活科校外学習 (14 名)
平成 22 年 11 月 2 日	白岡町議会 (7 名)
平成 22 年 11 月 9 日	芳賀南小学校 3 年生・総合学習施設見学 (49 名)
平成 22 年 11 月 11 日	東京都東久留米市教育委員会 (4 名)

(4) 「いのちを守り人権について考える」口演と講演の会

平成 22 年 10 月 16 日(土)、芳賀町民会館において、講演会を開催した。

1 部 口演童話 漆原智良作 口演朗読劇「東京の赤い雪」

出演:漆原智良、光丘真理、山川千代美

2 部 講演 光丘真理「ちいさくても尊いいのち」/漆原智良『「三さ」の心で明るい家庭づくり—温もりのある芳賀町に育まれて—」

(5) 太陽光発電システム

総合情報館では、環境に配慮した施設となるように、最大発電量約 7.5kwの太陽光発電設備を設置している。平成 22 年度発電量は、7981.102kw。

(6) その他

五行昔親会の「方言と昔ことば」調査の実施に協力し、総合情報館内に調査ノートを設置した(平成 22 年 9 月～平成 22 年 10 月)。

6 東日本大震災の被災記録

発生時	平成 23 年 3 月 11 日 14 時 46 分頃
地震規模	マグニチュード 9.0
芳賀町の震度	震度 6 弱
芳賀町の被災概況	・死者 1 名、負傷者 28 名 ・住家被害 全壊 16 棟・半壊 135 棟・一部損壊 2,280 棟
総合情報館の被災概況	・図書館開架書架の図書資料の落下(全体の約 7 割程度) ・普通収蔵庫内保管の縄文土器の破損 ・展示室ウオールケースガラスの亀裂 ・内部壁面等の亀裂 ・図書館棟トプライト下の反射板の変形歪み ・その他、閉架倉庫の資料落下等がみられた。
地震発生時の対応・経過	3月11日 発生直後に停電、システムのダウン。揺れが収束した後、利用者は外に退避し、臨時閉館とする。 3月12日～3月17日 臨時休館とし、職員は避難所対応及び落下図書等の復旧に対処し、期間中であった企画展も閉展とする。また、施設内各部分の点検実施。 3月18日～4月30日 計画停電、節電対策の影響を考慮し、平日・土日全ての開館時間を9時から17時とし、開館を再開する。初日は、9時から17時30分まで開館する。 5月1日 変則開館から、通常開館に戻す。

芳賀町総合情報館（知恵の環館）

〒321-3304

栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井 1078

TEL 028-677-2525 / FAX 028-677-2886

E-MAIL johokan@town.haga.tochigi.jp

<http://www.town.haga.tochigi.jp/jouhoukan/index.html>

平成 23 年 7 月 29 日発行